

シッツ豪ソング入門

知っておきたい! 豪ソング年表

アイルランド系流刑囚が持ち込んだのが、オーストラリア・ミュージックの始まりと言われていま
す。それでは、オーストラリア・ミュージックの流れを辿ってみましょう。現代に近づくにつれ、知っ
ている曲も多くあるはず。そしてきっと、カラオケに行きたい! 歌いたい! となるはず。
(年表はデビュー順に並んでいます)

We publish the words and music are only for non-commercial as well as just for educational purposes. Also we carry the words and music refer to Japanese copyright law.

本誌に掲載させた歌詞は商用目的ではなく、教育の目的のみで掲載されています。また、日本の著作権法も参考に紹介しています。

資料提供: Hit Studio

1930年代

Tex Morton

代表曲: **The Goondiwindi Grey**
オーストラリアらしい競馬の歌です。

1973年に引退した、サラブレッド
Goondiwindiを称えた歌です。(歌詞一部)

“ He’s never thrown
the towel in,
Been a trier all the way,
A horse we’re really proud of?
The “Goondiwindi Grey” ”

Buddy Williams

代表曲: **Music In My Pony’s Feet**
オーストラリア生まれのカントリー歌手兼
作曲家で、オーストラリアの優れた作曲家
に贈られる Australian Heritage Series を
受賞しました。

Chad Morgan

代表曲: **The Sheik of Scrubby Creek**
オージースラングを散りばめた、コミカル
な歌で大人気のカントリー歌手。

Reg Lindsay

代表曲: **Armstrong**
50年の歌手生活で500曲以上も創り上げ、
3度、Golden Guitar Awards を受賞した
カントリー歌手。

Hawking Brothers

代表曲: **One Day At A Time**
申し分のない素晴らしいハーモニーで、オー
ストラリアの民謡を数多く歌っています。

1940年代

Smoky Dawson

代表曲: **Homestead Of My Dreams**
カントリーミュージック界の先駆者と
言われています。

Slim Dusty

代表曲: **A Pub with No Beer**
オーストラリア民謡界の兄的存在。渋
い声で歌う歌は、オーストラリアの情
景を思い起こさせます。

Gordon Parsons

Slim Dusty と並んで大きく評価される
歌手。

1950年代